

鋤柄真希子 × 松村康平

— 越境し・合う作家 —

Cinema-KUTSU vol.13

自主映画定期上映会 @ 姫路 主催：姫路シネマクラブ

シネマ窟

MAKIKO SUKIKARA

KOHEI MATSUMURA

2013年10月12日(土) 19:00 - 21:00 ※開場 18:30

会場：納屋工房 アクセス：JR姫路駅より徒歩10分、大手前第一ビル4F

料金：一般 ¥1,000 姫路シネマクラブ会員 ¥800 (当日券のみ、1ソフトドリンク付き)

※会員の方は会員証の提示が必要となります。

予約・お問い合わせ：姫路シネマクラブ tel.079-281-8007 e-mail.himecine97@yahoo.co.jp

《映画》は足し算でも、掛け算でもなく

アニメーション作家の鋤柄真希子監督、写真家で映画作家の松村康平監督。

——と、ここまで書いて、あまり正確ではないことのため息をつかざるを得ません。

鋤柄監督作品の3本で松村氏は脚本と撮影を担当。松村監督の映画の2本で鋤柄氏は主演をつとめられています。

生み出された作品の数々は、ふたつの個性の衝突ではなく幸せな糸玉のよう。

混ざり、交わらず、越境を繰り返して、できあがった球体です。複雑に不規則に、でも、整然と絡み合った糸玉は決して解きほぐすことはできません。

ただ遠くで、時には近くで眺めることにより、作品の深淵さを、創作することの不思議さを、感じられるのではないのでしょうか。



雪をみたヤマネ

6min15sec. 2010

監督：鋤柄真希子
撮影：松村康平
音楽：前河憂祐

冬の草原が静かに雪で包まれる頃、冬眠中のヤマネが夢から目を覚まします。冬には決して目を覚ますことのなかった、ヤマネに起こった束の間の奇蹟。



やまなし

8min40sec. 2011

原作：宮澤賢治
監督：鋤柄真希子
撮影・演奏：松村康平
語り：鋤柄育美

蟹らの視線から描かれる小さな谷川の底の生物の世界。宮澤賢治の造語「クラムボン」はあまりにも有名。



LA PLUIE

10min. 2007

監督：松村康平
出演：鋤柄真希子 浅田岳
音楽：シヨパン Op.28-15

時は晩秋。柔らかに降る雨の中、男と女が車にふたり。別れの気まぜさから、ふたりは息をひそめ、ただぼつねんとその場に座ることを余儀なくされる。



カラスの涙

-While The Crow Weeps-

8min. 2013

監督：鋤柄真希子
脚本・撮影：松村康平
音楽：竹村延和
助成：文化芸術振興費補助金

夜明け前に、霧が深く立ちこめる時はカラスの弔いが行われるという。雲の中で魂とその死をよく知るカラスの記憶が融け合い、生命が引き継がれていく。

鋤柄真希子 × 松村康平

— 越境し・合う作家 —

予約受付中 ※満員の場合はご入場できない場合がございます。

予約・お問い合わせ：姫路シネマクラブ

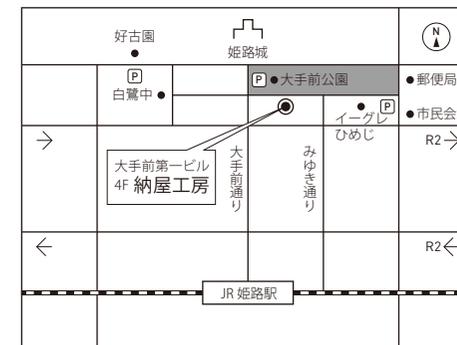
tel. 079-281-8007 e-mail. himecine97@yahoo.co.jp

URL. www5.ocn.ne.jp/~himecin2/CINEMA-KUTSU/



携帯電話は

<http://katy.jp/himeji-cinema/>



※みゆき通り側にエレベーターがあります。